



NO.

いちょう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

お神酒

住職 平田真純

聖天様への三種の供物といえ、お団(巾着型の甘
い揚げ菓子)・大根・お神酒であり、当山での毎朝の浴油
祈禱においても、檀上に必ず供えられます。大根とお
団(巾着)は聖天様のシンボルマークとしてよく知ら
れていますが、仏教の御尊体にお酒?と不思議に思わ
れる方もいらつしやるかもしれません。お神酒も大根
やお団と同じで、聖天様のおはたらきの象徴です。聖
天様はお酒がお好きであるとか、酒豪であるからとい
うわけでは必ずしもありません。

しばしば申し上げておりますが、この三種の供物は、
仏教で言う三毒すなわち、貪(むさぼり)・瞋(いかり)・
痴(おろかさ)の三つの煩惱の象徴、また三つの煩惱
を克服する象徴として対応させています。お神酒は
「痴」の煩惱の象徴です。経本には「癡」と書かれま
すが、これは「痴」の旧字体です。

「痴」とは「愚痴」「無明」ともいい、「(仏の)真理
を知らないこと」という意味です。真理即ち、ものご
との道理や摂理が分からなければ、迷いが生じます。

お神酒を供えるということは、己の無智迷妄を聖天
さまに託し、正しいお智慧を頂こうということです。

無智による「迷い」という言葉について岩波仏教辞典
には、—ものごとの真実が分からずに、誤った考えに
執着すること。いつわりのすがたにとらわれて、それ
こそが真実であると思ひこむことを、絶えず繰り返し
ている状態。心が迷い動揺しているために、自分の望
んでいることとは別の考えや言動をしている状態。：
云々—とあります。

これを読むと、反省しきりとならざるを得ませんが、
焦ったり、慌てたり、自分勝手にもくろんでも、碌な
結果にはなりません。迷いが生じたとき、一番必要な
ことは「冷静になること」言い換えれば「我に返るこ
と」ではないかと思えます。そのことで、聖天様のお
導きを受け入れられる心の状態になるのではないでし
ょうか。

自失の迷いであっても、二者択一的な迷いであって
も、なるべく正しく克服できるように、日頃から神仏
に真摯に手を合わせ、「我に返る」習慣を持ちたいもの
です。

五月御縁日大法要・行事紹介

大般若講祈禱会

五月二十日(木) 午前十二時

講金 一、五〇〇円

本年もコロナの影響により、昨年同様、予定しておりました『香湯加持会』は対面で行う儀式のため、中止とさせて頂き、ご縁日法要として『大般若講』を行います。

尊天様を供養し、皆様の家内安全・商売繁盛・諸願円満を祈願いたします。

大般若経典は十六会、二五七品からなる経典のことで、全てあわせると六百巻にもなる長いお経です。文字数は凡そ六億四千万字、三万キロを歩き、十七年もの歳月を費やし、玄奘三蔵がインドより唐に持ち帰った経典になります。経典一字一句を全て読み上げる事を「真読」と言いますが、少数の僧侶では数日を要する事になります。従いまして、真読を略して僧侶が「転読」し、国家安穩などを祈念する法要が飛鳥時代から行われておりました。当山では導師をはじめ式衆の転読文とともに経巻を扇のように大きく繰り広げ、そして音を立てて経音には「魔」を払う功德があると言われております。除災招福を祈り、聖天様と縁を結ぶこととなります。僧侶の一つ一つの所作にも意味のあることをご理解頂けると幸甚に存じます。



法要当日の様子はライブ中継されますのでそちらをご覧ください（詳細は三面参照）

朝まいり会法要中止のお知らせ

五月七日に予定しておりました恒例の朝まいり会正・五・九（大般若）法要は新型コロナウイルスの影響により昨年同様中止とさせて頂いていただきます。朝まいり会員の皆様におかれましてはご理解の程よろしくお願い申し上げます。

待乳山使り

婦人講 報告

三月二十日、婦人講法要を執行し皆様の家内安全を祈願いたしました。

『婦人講』は、大正期、ご婦人が発起人として始まった歴史ある講中であります。震災や戦災により被災した際には、多大な貢献を頂きました。「婦

人講」という名称ですが、男性の申し込みも多くございます。

例年ですと、たくさんのご信徒様で埋まる外陣も昨年同様、参拝をご遠慮いただき僧侶のみで執行いたしました。

稲荷祭 報告

三月二十三日、稲荷祭を執行し皆様の除災・招福を祈願いたしました。

当山稲荷社は、豊川稲荷の流れを組む寺院系のお稲荷様になります。作法は柏手を打たずご名号を唱えるのが一般的です。当山の守護神として、旧暦の『初午』の日に毎年供養会を執行しております。



多くの供物を供え、お稲荷様を供養致しました。 ※婦人講、稲荷祭共に信徒総代のみのご列席で執行了しました。ご信徒の皆様にも早くご参加いただけるよう、収束を祈っております。



「額堂から見る自然豊かな待乳山」

待乳山は四季の移り変わりがよくわかる場所です。額堂の仕事は花や大根その他の販売並びに、参道にございます大きな香炉の灰慣らし、出世観音様、お地藏様の掃除、水の入替え作業、額堂周辺を主にした境内の掃除等多岐にわたります。また秋の枯れ葉の掃除の時は、皆様のお助けを頂きながら、奮闘しております。

昔、幼い息子たちと、ここ待乳山に脚を運んでい たときから三十年以上の時を経て、まさか自分の職 場が待乳山になるとは、まったく想像すらしており ませんでした。これもひとえに聖天様のお導きなの だと考えております。

僧侶の方がおります本堂や、ご祈祷の受付けなど、 信者の皆様と数多く接する機会がある寺務所でもな く、額堂という場所においても、聖天様には、 いろいろな悩みを抱えている方々が非常に多く見受 けられます。その方達の心に寄り添い耳を傾け優し い気持ちで接していきたいと常々思っております。

ある本の中に「反省できない人は感謝の心を持た ない」という一節を目にし、人生においてとても大 切な考え方だと私は思っています。

聖天様で働けることに感謝の気持ちを忘れず、皆 様が幸福であることを、額堂から心より願っており ます。

本堂内参拝諸注意

本堂外陣において、堂内の参拝規制を引き続き行 っております。

- ① 入堂時、左手に消毒液がございますのでご利用く ださい。マスクは堂内、境内共に着用願います。
 - ② 膝をついて大根、お花、賽銭等をお供えください。
 - ③ お供え後は色付きテープ外にてお参りください。
- ※後方でお待ちの方がおられます

④ 経本や念珠を使ってお参りされる方は専用のイス (数席) を用意しておりますのでご利用ください。

※お勤めのお時間は十分程度でお参り下さい。飛 沫防止のため読誦は黙読もしくは微音にてお願いい たします。

参拝者の皆様には、ご不便をおかけしますがどう ぞご理解とご協力よろしくお願いいたします。



②お供え ①消毒

参拝は④イスに座って ③線の外か

諸行事参加について

コロナ禍が続いておりますが、現在の諸行事の 参加ならびに申込方法をお知らせいたします。

◎朝まいり会・写経の会

朝まいり会、写経の会を予約制となっております。 朝まいり会は毎月一日から七日の中からお一人一日 のみ参加できます。定員は一日十名です。 写経の会は第二日曜日とその前日の土曜日の計二 日、それぞれ定員二十八名で午前十時のみの開催と なります。

いずれも毎月十五日より、翌月分のご予約を専用 電話番号にて、ご本人様のみ受付いたします。

予約電話番号 ☎ 080-7419-1297

朝まいり会はライブ配信がございますので、ご利 用ください。

◎諸講、合同大般若法要

当面の間、当山僧侶のみで執り行ないます。 ライブ配信がございますので、ご利用ください。 お申込み頂いたお札、お供物等は法要終了後より 受け取り可能です。

◎日曜勤行、坐禅の会

当面の間、中止とさせていただきます。 ※今後の情勢に応じて、変更する場合がございます。

五月行事予定

御縁日大法要

香湯加持会

五月二十日(木) 午前十一時

講金 二、〇〇〇円也

法要は執行いたしますが、信徒様におかれましてはご自宅でのお勤めをお願いいたします。ご参拝の皆様のお加持は延期といたします。

朝まいり会

五月一日〜七日 午前八時から八時半

会費 五〇〇円也

僧侶のみでお勤めいたします。会員の方の参加はできません。

また、七日の齋食と大般若法要は中止といたします。

日曜勤行

中止となります。

写経の会

中止となります。

坐禅の会

中止となります。

収束後、より一層充実した
行事を企画してまいります

合同大般若法要

五月二十五日(火) 午前十一時 法要料 五、〇〇〇円也

法要は執行いたしますが、信徒様におかれましてはご自宅でのお勤めをお願いいたします。

六月の行事 御縁日大法要

地藏供養会

六月二十四日(木)

午前十一時

講金一、五〇〇円也

ご祈禱のご案内

祈禱料

聖天様独特の供養法である

浴油供は、密教の中で最も

深秘の法とされています。こ

の供養法は聖天様のお力が

より一層高められ、私どもが

不可能と思われるような願

い事でも、尊天様の不思議方

便のお働きを得て、必ず成就

させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈禱を、

毎朝開堂と同時に厳修して

おります。寺務所にて受け付

けておりますので、お名前と

お願いの内容、祈禱期間をお

伝え下さい。

またご遠方の方やお急ぎの

方は、お電話やお手紙でも受

け付けております。どうぞお

申込みください。

別座祈禱 壺万円(一週間)

浴油祈禱 三千五百円(一週間)

華水供 五百円(一日)

法要案内

当山では予約にて法要を

行っております。寺務所にて

お問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円

沢山のお供物をお供えし、

出仕の僧侶が声明をお唱え

することで、尊天さまに御礼

の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円

所願成就御礼の法要とし

て、大般若経六百巻を転読い

たします。

自動車加持 法要料 壺万円

当院にてお車のお加持をい

たします。当日はお車にてお

越しください。

皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。ご意見やご質問は ityou@matsuchiyama.jp までメールをお送りください。